学校番号	1205

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	実用数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまでに習った数学の内容を扱い、就職試験や一般常識の問題を解ける計算力、実践力の向上をめざします。積極的に授業に参加してください。
・授業中に演習を行う時間を多くとります。まずは自分の力で問題を解いてみましょう。問題の正誤に関わらず、自分で問題を解く、という姿勢が大切です。また、プリント学習の授業ですが、板書以外にもどんどんメモを取りましょう。
・授業中や、家庭学習として課された課題は、最後まで取り組み、期限を守って提出するようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基礎・基本的な数学の既習内容の定着をはかり、就職試験や一般常識の問題に対応できる知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
日常の事象を数学的・論理的にとらえ、考察できる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
身の回りの事象を数学的に活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	計算分野や図形と計量、確率や 2 次関数などの多くの分野において、基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに事象を数学的に表現、処理する技能が身に付いている。	速度や濃度、2 次関数や平面図形・立体図形などの分野において、数や式、図形やグラフを多面的に見たり、事象を論理的に考察・表現したりする力が身に付いている。また思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりする力が身に付いている。	既習の学習内容について、問題に対する考え方や、解法に関心を持つとともに、数学の良さを認識し活用しようとする、粘り強く考え、論理的に判断しようとする、考察を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	四則演算	数の計算	a:正負の整数、分数、小数、根号の性質を理解し、四則演算ができる。 b:√の中を簡単な数にする仕組みや方法を考察し、表現することができる。 c:四則演算、√を含む計算の仕方を考えようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 学習プリント	観察 学習プリント
	速度	速度計算	a:速さ・時間・距離の関係、早さの単位の性質を理解し、各値を求めることができる。 b:電車や車の速度や、通過にかかる時間からトンネルの長さ等を考察したり、橋の長さを表現することができる。 c:速度に関する計算や、速さ・時間・距離を活用し、問題を解こうとしている。			
	方程式	1次方程式 2次方程式	a:1次・2次方程式及び連立方程式の基本的な解法を理解し、公式などを用いて計算することができる b:1次・2次方程式及び連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 c: 一次・二次方程式及び連立方程式について学んだことを活用しようとしている。			
	1次不等式	1次不等式	a:1次不等式の基本的な仕組みを理解し、不等式を求めることができる b:1次不等式を具体的な場面で活用することができる。 c:1次不等式について学んだことを活用しようとしている。			
2学期	2次関数	2次関数のグラフ	a:2次関数の式とグラフの関係を理解し、頂点の座標や軸の式を求めることができる。 b:標準系であらわされた 2 次関数の式から、グラフの特徴や形を考察できる。 c:2次関数について、学んだことを活用し、グラフとの関係を考察しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 学習プリント	観察 学習プリント

2学期	2次関数	2 次関数の最大･最小	a:2 次関数のグラフや式を用いて、2 次関数の最大値・最小値を求めることがでる。 b:2 次関数の値の変化についてグラフを用いて考察することができる。 c:2 次関数の値の変化に関心をもち、具体的な事象の考察に 2 次関数の最大・最小を活用しようとする。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 学習プリント	観察 学習プリント
		2 次関数のグラフと方程式	a:2 次関数のグラフと x 軸との共有点の座標を求めることができる。 b: 2 次方程式の解から 2 次関数のグラフと x 軸との共有点の座標を考察し、関係を推察することができる。 c:2 次関数と 2 次方程式の関係に興味を持ち、問題を解こうとしている。			
		2 次不等式	a:2 次関数のグラフを活用して 2 次不等式の解を求めることができ、2 次不等式の解の意味を 2 次関数のグラフとの関係から理解している。 b:2 次不等式の解を 2 次関数のグラフを用いて考察することができる。 c:2 次不等式の解に関心をもち、2 次関数のグラフを活用して 2 次不等式の解を求めようとする。			
	場合の数	要素の個数 場合の数	a:自然数の約数を求めるにあたって、集合の要素の個数を数学的に数えることができる。 b:日常の出来事から、場合の数について考察することができる。また、ベン図を用いて、集合の個数について考察することができる。 c:具体的な日常の出来事に対して数学的に考察し、問題を解こうとしている。			
	確率	確率	a:確率の意味、試行や事象、確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 b:試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考えることができる。 c:日常的な事象から数学的な確率に興味・関心をもつ。			
	濃度算	濃度算	a:濃度の計算に関して、公式や仕組みを理解し、濃度の計算ができる。 b:濃度の公式をもとに、蒸発したり水を加えた食塩水の濃度を計算できる。 c:日常的な出来事から濃度について数学的に考察しようとしている。			

2学期	比の計算	比の計算	a:比に関しての仕組みを理解し、比の計算ができる。 b:比の基本的性質を理解し、それをもとに 3 つ以上の比を求めたり、日常の出来事を比を用いて考察、表現できる。 c:日常的な出来事から比について関心を持ち、数学的に考察しようとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 学習プリント	観察 学習プリント
3学期	直線と角	直線と角	a:複数の直線が作る角について基本的な特徴を理解し、角度を求めることができる。 b:錯角や同位角、外角の定理を利用し、 特殊な形状の図形について角を求めることができる。 c:直線と角の関係や定理に関心を持ち、問題を解こうとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 学習プリント	観察 学習プリント
	面積	面積	a:図形の面積に関する基本の公式を理解し、与えられた図形の面積を求めることができる。 b:図形の面積を求める基本の公式を利用し、特殊な形状の図形の面積を求めることができる。 c:日常見かけることができる図形の面積に関心を持ち、問題を解こうとしている。			
	体積	体積	a:立体の体積に関する基本の公式を理解し、与えられた立体の体積を求めることができる。 b:立体の面積を求める基本の公式を利用し、特殊な形状の立体の体積を求めることができる。 c:日常見かけることができる立体の体積に関心を持ち、問題を解こうとしている。			
	整数	ユークリッドの互除法	a:公約数の求め方や仕組みを理解して最大公約数を求めることができる。 b:ユークリッドの互除法を理解し、公約数がみつけにくい自然数の公約数を求めることができる。 c:整数の性質や膠着数の仕組みに関心を持ち、問題を解こうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度